

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 公安委員長挨拶

「本日から池田本部長が公安委員会全体会議に出席されることとなった。堀内前本部長には新任地での益々の御活躍を祈る次第である。堀内前本部長在任中は、新型コロナウイルス感染予防対策の陣頭指揮をとられ、警察職員も早期にワクチン接種をすることができた。また、離任前には台風9号の通過等に伴って発生した災害にも対応してもらった。この台風等では、調査中ではあるが県西部の各地域で多数の被害が発生している。7月中旬の集中豪雨でも松江・出雲・雲南の各地で多くの被害が発生しており、県内各地の被災箇所が1日でも早く復旧すること、さらなる被害が発生しないことを願っている。池田本部長を迎え、今後はこのメンバーで全体会議を行っていくこととなる。引き続きよろしく願います。」旨の発言があった。

警察本部

2 報告

(1) 苦情の取扱状況（令和3年7月）

苦情の取扱状況（令和3年7月）について報告があった。

警察本部

(2) 通学路等における犯罪被害防止対策の推進

「発生状況としては、令和2年の声かけ・つきまとい事案は過去最多、本年は声かけ事案が増加傾向であり、昨年同期比プラス7件である。主な特徴は、小学生被害が44.3%で昨年と比較して増加傾向、中学生や高校生等の被害は減少、発生時間帯は登下校時間帯に集中し15時～16時台39.6%、6時～9時台14.4%である。検挙件数は5件で昨年同期比マイナス6件、指導警告件数は36件で昨年同期比プラス2件である。情報発信として、みこぴー安全メール等による防犯情報の発信、テレビ・ラジオCMによる未然防止広報等を実施した。街頭防犯カメラについては、JA共済連島根から120台の寄贈等を受け増設した。『ながら見守り』については防犯ボランティアや地区住民・企業等と連携して推進し、通学路安全対策の推進として、浜田市と連携した通学路の安全対策を推進し『安全安心ロード』の指定を行った。」旨の報告があった。

委員

[意見]「登校時は集団で登校しているし、ボランティアの方も見守っている。下校時の対策にしっかり目を向けてほしい。」

委員

[意見]「みこぴー安全メールを見ると夕方の声かけ事案が多い。なるべく複数人で下校させるようにしてほしい。寄贈されたカメ

|      |  |
|------|--|
| 委員   | <p>ラを有効に活用してほしい。」</p> <p>[意見]「集団下校していても、途中で別れて脇道で一人になってしまうことがある。ボランティアの方の負担も考えて、自治会とも連携して地域全体で見守り活動をしてほしい。」</p>  |
| 警察本部 | <p>[説明]「ながら見守りを活用して地域と連携し、ボランティアの方の負担も考慮して、しっかりとやってまいりたい。」</p>   |
| 警察本部 | <p><b>(3) 広域緊急援助隊交通部隊等による災害対応訓練の実施</b></p> <p>「風水害や地震などの自然災害の発生に備えて交通対策の訓練を令和3年8月3日、島根県警察本部指揮室、平成庁舎等において広域緊急援助隊交通班、災害警備本部交通班及び通信班が映像の撮影及び送受信訓練、情報収集・指揮訓練、交通信号機滅灯時の交通整理訓練、その他資機材取扱訓練を実施した。路面状況等を鮮明に撮影・配信できた。」旨の報告があった。</p>  |
| 委員   | <p>[意見]「日頃の訓練をしっかりとやって有事に備えてほしい。」</p>  |
| 委員   | <p>[意見]「近年は特に災害が多い。活動時には二次災害に遭わないよう自分の命を大切にしてほしい。」</p>   |
| 委員   | <p>[意見]「バイクとドローンを併用するなど、より効果的な対策ができれば良いと思う。」</p>   |
| 警察本部 | <p><b>(4) 台風9号・8月12日からの大雨に伴う警察措置</b></p> <p>「8月9日、台風9号の影響により県内各地で記録的な大雨が降り、隠岐の島上空では線状降水帯が発生、海士町では観測史上最大の降水量となった。益田市では40歳代男性が高津川に転落し行方不明となり、その後、遺体で発見、西ノ島町においても側溝で60歳代女性が遺体で発見された。警備体制は最大時本部員116人、署員165人となる本部長を長とする甲号災害警備本部を設置した。援助協定に基づき、広島県警への派遣を受け、高津川上空からの情報収集、行方不明者の捜索を実施した。『災害時等におけるドローンによる協力に関する協定』に基づき民間企業が所有するドローンを捜索活動に活用した。また、活発な前線が停滞した影響で8月14日、県内において記録的な大雨となり、一級河川『江の川』が6か所で氾濫し、江津市は3地区に警戒レベル5『緊急安全確保』を発令した。警備体制は最大時本部115人、署員103人となる本部長を長とする甲号災害警備本部を設置した。江の川氾濫状況をモバイル映像伝送により、警察庁等に送信した。援助協定に基づき鳥取県警への派遣を受け、撮影した映像を警察庁、島根県災害対策本部等に提供した。」旨の報告があった。</p> |
| 委員   | <p>[意見]「災害では上空から現場を把握できるドローンが役に立つ。」</p>  |

警察署が民間と協定を結んでいるが、警察本部も警察署もドローンを配備して操縦者を育成していくべきではないか。協定を結んでいる民間の方が対応できないときのためにも、警察官が操縦の資格的なものを持つべきではないか。また、災害現場では自分の命を大切に二次被害が発生しないようにしてほしい。」

委員 [意見]「県警へリに関する協定が有効に活用されて良かった。地元ではドローンを活用して稲の消毒を行っていたが操縦技術が素晴らしかった。その姿を見ながら、カメラ付きドローンを現場で活用するのにいい案がないかと考えていた。」

委員 [意見]「ドローン協定を締結していない警察署もあると聞いた。協定を結ぶ場合は、地域によって差が出ないようにしてほしい。」

### 3 話題

#### 採用時教養における諸行事

警察本部 「8月6日、初任補修科第45期生の卒業式を挙行了。また、8月4日、事件事故等の現場における要救護者に対し、適切な救命措置等を施すことができるよう、救急法に関する知識、技術の習得を図ることを目的とした初任科第169期生の救急法検定を行った。結果は全員合格であった。その他、初任科における各種検定として、逮捕術基礎級検定を5月12日に実施し全員合格、第二級陸上特殊無線技士を6月11日に実施し全員合格、拳銃検定を7月19日に実施した。本日は逮捕術検定を実施する予定である。また、初任科生に対する説明能力向上施策にも取り組んでおり、8月12日、初任科第170期生を対象に教育主事による講義、通称ポリスチャレンジを実施したほか、初任科生作成の論文又は読書感想文の添削指導を行い、優秀者の表彰、教育主事等による講評を実施した。その他、8月26日には株式会社バードマン島根支社長によるコミュニケーション向上教養を受講した。」旨の報告があった。

委員 [意見]「学校で学んだことを卒業後、すぐに実践するのが警察の特徴である。一般教養を身に付けること、コミュニケーション能力を伸ばすこと、情報を周囲と共有することが重要である。」

委員 [意見]「コミュニケーション向上教養は大切である。また、障がい者への対応も引き続き教養してほしい。」

委員 [意見]「コロナ禍であり、自分の身を守りながら教養に臨んでほしい。対応する際の言葉や態度を教養し、冷静で論理的な対応を身に付けて卒業してほしい。」

本 部 長

#### 4 総括

「本日、初めて公安委員会全体会議に出席した。着任したばかりであり、島根県からはこれから大いに勉強してまいりたい。その点も含め、これからよろしく御指導願いたい。」旨の発言があった。